

# 事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-04-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	事務管理費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下		
		担当者名	上村	内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-02-01	事務管理費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	平成 28（2016）年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり				
目的	ゆいの森あらかわの適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、魅力的かつ快適で安全・安心なサービスの充実を図る。						
対象者等	ゆいの森あらかわ利用者						
内容	【開 設】平成29年3月26日 【所 在 地】荒川区荒川2-50-1 【土地面積】4,111㎡ 【延床面積】10,944㎡ 【構 造】鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 【開館時間】午前9時～午後8時30分 【主な事業】中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろば等						
経過	平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）あらかわ二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロポーザルによりカフェ運営事業者決定 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定 平成29年 1月 竣工 3月26日 開館 平成30年 3月 テーブル・座席の増設、館内サインの追加製作 令和2年 4月 新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休館（4月8日～5月29日）						
必要性	ゆいの森あらかわの運営により、区内全体の知とコミュニティの醸成を図るため、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と体験を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれる施設の必要性は高い。						
実施方法	（ <input checked="" type="radio"/> 一部委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 夜間総合受付・設備維持管理・清掃・警備・植栽管理業務等を委託						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
	① 入館者数	355,860	510,961	618,902	650,400	732,000	ゆいの森あらかわ入館者数
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
5年度	6年度						
推進	推進	安全・安心で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を図っていく。					

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		181,750	178,057	178,467	180,102	174,126	187,119	214,287
決算額 (5年度は見込み)		147,982	162,882	163,517	157,790	163,426	180,837	214,287
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
修繕件数		3	14	20	15	21	23	27
予算・決算の内訳		令和3年度 (決算)		令和4年度 (決算)		令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
旅費	近接地内外旅費	17	旅費	近接地内外旅費	202	旅費	近接地内外旅費	310
需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	44,122	需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	62,065	需用費	光熱水費・一般需用費・家屋等修繕費	84,757
役務費	電話・郵便・手数料等	8,667	役務費	電話・通信・郵便・手数料等	8,178	役務費	電話・通信・郵便・手数料等	8,718
委託料	施設管理に係る業務委託等	109,793	委託料	施設管理に係る業務委託等	109,730	委託料	施設管理に係る業務委託等	119,164
使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	583	使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	574	使用料	トイレ衛生装置・AED賃貸借等	1,062
その他	報償費・備品費	244	その他	報償費・備品費	88	その他	報償費・備品費等	276

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	19,846	16,438	▲ 3,408	地方税等	0	0	0
	物件費	159,371	174,289	14,918	国庫支出金	1,203	499	▲ 704
	維持補修費	4,055	6,549	2,494	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	4,536	7,290	2,754
	減価償却費	255,443	252,900	▲ 2,543	その他	2,036	3,410	1,374
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	7,775	11,199	3,424
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,086	1,016	▲ 70	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 432,026	▲ 439,993	▲ 7,967
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 8,499	▲ 7,933	566
	行政費用合計(b)	439,801	451,192	11,391	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 440,525	▲ 447,926	▲ 7,401
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 440,525	▲ 447,926	▲ 7,401	

備考 行政費用では、エネルギーの価格高騰に伴い物件費（光熱水費）が増加した。行政収入では、文化庁の補助金を継続して活用し、感染防止対策を実施した。その他収入の増は、地下駐車場及びカフェ等の使用料収入である。

問題点・課題  
 ・引き続き感染症防止策に対応し、利用者が安全・安心で快適に施設を利用できるような施設運営を行う必要がある。  
 ・定期的な保守点検や必要な修繕により、施設の維持管理を行うとともに、予防保全の観点から計画的な修繕を実施することにより、施設の長寿命化を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き利用者が安全・安心で快適に施設を利用できるように、感染防止に対応した施設運営を行う。	感染状況に応じて、滞在時間の制限や、定期的な消毒等、利用者が安心して利用できるよう対策を実施した。	引き続き利用者が安全・安心で快適に施設を利用できるように、国や都の方針を踏まえ、必要な感染対策を講じていく。
②	引き続き定期的な保守点検や修繕を行い、適切な維持管理を図り、施設の長寿命化のために、計画的な修繕を検討する。	将来的に故障が見込まれる設備について、予防保全の観点から、空調機器の制御システムの更新等の修繕を行った。	引き続き定期的な保守点検や修繕により、適切な維持管理を図り、施設の長寿命化のために計画的な修繕に努めていく。
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
	図書館、文学館、子どものための施設が融合した、これまでにない新しいコンセプトの施設である。

議会議決要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 6月会議 成果と今後の方向性について</li> <li>平成28年度 決特 ゆいの森あらかわの周知について</li> <li>平成29年度 決特 サインの見直しについて</li> <li>平成29年度 決特 カフェの運営について</li> <li>平成29年度 予特 適切な施設管理について</li> </ul>
--------	--

# 事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-04-02	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下			
		担当者名	田中・川上・増田	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-03-01	事業運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 28（2016）年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例					
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	生涯学習や地域コミュニティの拠点となるよう、「ゆいの森あらかわ」の中央図書館、吉村昭記念文学館、子どもひろばの3つの機能が有機的に融合した事業のほか、他部署や他機関と連携した事業及びボランティア活動の支援を展開する。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>【施設機能等連携イベント】 図書館、文学館、子ども施設の各機能が連携した講演会やイベント等を開催。</p> <p>【地域活動支援】 地域コミュニティの拠点として、他部署や他機関との連携を図りながら、地域住民の活動やボランティア活動を支援する。</p> <p>【他機関協働事業】 他部署や他機関と連携し、区民の方が施設に足を運ぶきっかけとなる幅広い分野にわたる魅力ある事業を展開する。</p>							
経過	<p>平成22年 3月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定</p> <p>12月 学びラウンジボランティア開始</p> <p>平成29年 3月26日 開館 4月～5月 開館記念イベント開催</p> <p>8月 区内事業者と連携した企画展及びアニメ上映会開催</p> <p>平成30年 1月 新春舞踊ショー・昭和写真展開催（～3月）</p> <p>3月 開館1周年記念イベント（逢坂剛氏講演会等）</p> <p>平成31年 7月 切断ヴィーナス写真展と講演会</p> <p>令和 3年 8月20日～9月15日 夏季企画展「見る、知る、広げる 東京2020パラリンピック特別展」開催</p>							
必要性	地域活動への参加や多様な体験や学習のきっかけとして事業を展開する必要がある。							
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員 <input checked="" type="checkbox"/> 会計年度任用職員）							
指   標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	事業開催数（回）	321	350	407	428	500	ゆいの森で実施した事業数
	②	ボランティア活動者数	98	140	129	156	145	ゆいの森課のボランティア全体
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進	重点的に推進	地域コミュニティ及び文化推進の拠点として、三つの機能の融合施設であることを生かした、様々な事業を実施するとともに、新たな文化活動を積極的に企画・発信していく。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		10,036	8,505	6,808	6,856	5,169	2,212	2,053
決算額 (5年度は見込み)		4,395	5,336	4,510	1,422	1,323	1,637	2,053
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事業開催数(回)		332	493	514	321	350	405	428
ボランティア活動者数		87	91	111	98	140	131	140

  

予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	イベント講師謝礼	468	報償費	イベント講師謝礼	524	報償費	イベント講師謝礼	630
需用費	消耗品費	284	需用費	消耗品費・印刷費	232	需用費	消耗品費・印刷費	492
役務費	展示運搬・展示保険料	35	役務費	ボランティア保険料	3	役務費	ボランティア保険料	11
委託料	企画展示制作等	536	委託料	グッズ製作、映画上映支援等	878	委託料	グッズ製作、映画上映支援等	920
使用料	放映権	0	使用料			使用料		

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
行政費用	給与関係費	4,033	5,879	1,846	地方税等	0	0	0	
	物件費	853	1,110	257	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	74	0	▲ 74	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	470	527	57	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	455	525	70	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	529	525	▲ 4	
	賞与・退職給与引当金繰入額	221	364	143	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 5,048	▲ 7,355	▲ 2,307	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	5,577	7,880	2,303	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 5,048	▲ 7,355	▲ 2,307	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 5,048	▲ 7,355	▲ 2,307		

備考 行政費用では、主に給与関係費が多くを占めている。また、イベント実施に伴う、物件費(報償費、委託料)が増加している。行政収入は、都支出金(スポーツ振興等事業費補助金)の減及びグッズ売り上げ(その他)の増となっている。

問題点・課題  
 ・各種イベントについて、子育て世代や仕事をしている人が参加しやすい仕組みに見直すことで、活動できる場を広げていく。  
 ・ボランティア登録者が気軽に事業に参加できる環境を整えるとともに、継続して活動できるよう支援していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、感染症対策を行いながら、オンラインの活用や事業実施回数を増やすなどの取り組みを実施する。	感染状況を考慮しながら、大人も子どもも楽しめる参加型のイベントを実施した。	幅広い年齢層が参加できるイベントや新たに実施するブックスタートと連携した事業等を実施していく。
②	親子講座の実施を通じて、ボランティア活動参加者の裾野を広げるとともに、継続して活動できる場を提供していく。	講座の実施により、ボランティア活動参加者の裾野を広げた。また、継続した活動として、季節に合わせた植栽の植替え等を実施した。	ボランティアの活動により多くの方々に参加いただけるよう、子どもテラスでの園芸活動等も実施していく。
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会(要旨)質問状	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度 予特 ボランティアについて</li> <li>平成28年度 予特 オープニングイベント等について</li> <li>平成28年度 決特 ボランティアの活用について</li> <li>平成29年度 決特 事業者と連携したイベントの実施について</li> <li>平成29年度 予特 魅力あるイベントについて</li> </ul>
-----------	---

# 事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-04-03	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	子どもひろば運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下			
		担当者名	増田・田中	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-05-01	子どもひろば運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 29（ 2017 ）年度	根拠	一時預かり実施要綱					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無（ ）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	子どもたちが多様な体験や学びによって、将来の夢を育む支援を行う。また、乳幼児とその保護者や小中学生の安全な居場所を提供する。							
対象者等	主に中学生以下の生徒、児童、乳幼児とその保護者							
内容	<p>【乳幼児（主に遊びラウンジ）】 絵本館との融合を図りながら、雨の日でも遊べる成長に合わせた室内遊具を設置。保育士の見守りにより、簡単な育児相談も実施。</p> <p>【児童、生徒（主に学びラウンジ）】 30種類を超える体験キットや理科実験等のワークショップを実施するほか、放課後の居場所を提供。</p> <p>【一時預かり】 区内在住の未就学児（生後6か月以上）、かつ、ゆいの森利用者が対象。 ①1時間単位で最大3時間まで ②定員4名 ③月の利用限度：一人当たり21時間 ④費用：1時間当たり500円（兄弟姉妹同時利用の場合は、二人目以降250円）</p>							
経過	<p>平成21年11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置</p> <p>平成23年 7月（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定</p> <p>平成28年 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定</p> <p>体験キット、体験ワゴン、星空学習ソフト、デジタル地球儀など小中学生を対象とした体験事業を開発</p> <p>平成29年 3月26日 開館</p> <p>令和2年度 乳幼児一時預かりを委託から直営に変更</p>							
必要性	子どもたちの安全な居場所や自主的な学びの場を提供するとともに、子育て世代のコミュニティの場として活用されており、必要性は高い。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員 <input checked="" type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ）							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	遊びラウンジ利用者数（子どものみ）	8,908	15,283	19,033	20,207	39,000	
	②	体験キット貸出件数	2,440	4,417	8,607	11,014	27,000	
③	ワークショップ等参加者数	253	2,167	2,703	4,030	5,100	ワークショップ、校外学習の参加者	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進	重点的に推進	乳幼児とその保護者や小中学生の居場所として遊び・学びラウンジの充実を図っていくとともに、未来を担う子どもたちに様々な体験を提供し、将来へ夢を育む場となるよう、積極的に事業を推進する。						

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	26,634	21,427	23,160	11,560	13,562	13,705	13,810	
決算額 (5年度は見込み)	21,316	19,226	20,908	8,044	10,525	12,031	13,810	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	一時預り者数 (延べ人数)	2,557	3,019	2,998	1,343	2,199	3,071	3,252
	体験キット等保有数 (種類)	17	21	26	31	35	35	45
	校外学習等参加者数 (延べ人数)	1,451	1,486	1,442	0	1,517	1,785	1,560

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報酬	臨時職員賃金	6,285	報酬等	臨時職員賃金、期末手当	7,964	報酬	臨時職員賃金	7,499
職員手当	臨時職員期末手当	924	報償費	講師謝礼	101	職員手当	臨時職員期末手当	1,367
旅費	臨時職員通勤費	155	旅費	臨時職員通勤費	161	報償費	講師謝礼	221
需用費	消耗品費等	1,716	需用費	消耗品費等	1,807	旅費	臨時職員通勤費	246
役務費	体験型展示通信料	103	役務費	体験型展示通信料	103	需用費	消耗品費等	2,067
委託料	ワークショップ委託等	1,180	委託料	ワークショップ委託等	943	役務費	体験型展示通信料	103
備品購入費・償還金	備品購入、補助金返還金	162	備品購入・償還金	備品購入、補助金返還金	952	委託料	ワークショップ委託等	2,307

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目		
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額
	給与関係費	20,383	23,258	2,875	地方税等	0	0
	物件費	3,297	3,805	508	国庫支出金	2,637	2,614
	維持補修費	0	0	0	都支出金	2,637	2,614
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0
	補助費等	19	263	244	使用料及び手数料	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	1,048	1,389
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6,322	6,617
	賞与・退職給与引当金繰入額	730	958	228	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 18,107	▲ 21,667
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0
	行政費用合計(b)	24,429	28,284	3,855	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 18,107	▲ 21,667
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 18,107	▲ 21,667

備考 行政費用では、主に給与関係費が多くを占めている。また、物件費及び補助費等が増加しているが、これは備品購入やワークショップ等の講座実施に伴う報償費、補助金返還によるものである。行政収入では、乳幼児一時預り利用者(その他)が増加している。

問題点・課題  
 ・学びラウンジについて、時代のニーズを踏まえた体験キットの製作やワークショップ等を検討する必要がある。  
 ・遊びラウンジについて、子育て世代の交流の場として交流の促進を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	SDGsや脱炭素社会などのニーズを踏まえた体験キットの企画製作やデジタル地球儀を活用したワークショップを実施していく。	デジタル地球儀を活用したSDGsや環境清掃部と連携したワークショップを実施したほか、新たな体験キットの企画に取り組んだ。	他機関との連携を継続し、新たなワークショップや体験キットの企画製作に取り組んでいく。
②	子育て世代の安全な居場所としての利用環境の整備や、子ども達の成長に合わせたイベント等を実施するなど内容の充実を図る。	安心して過ごすことができるよう、利用環境の整備を行うとともに、子どもの成長に合わせた体験ができるイベント等を実施した。	利用者同士の交流のきっかけの場を提供していくほか、子育て講座の充実を図っていく。
③			

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)  
 遊びラウンジは、国の事業である「地域子育て支援拠点事業」に基づき実施している。

議会(要旨)質問状  
 ・平成29年度 決特 乳幼児一時預かりについて  
 ・平成30年度 予特 乳幼児一時預かりについて  
 ・令和元年度 決特 乳幼児一時預かりについて

# 事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-04-04	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	中央図書館運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課	課長名	山下			
		担当者名	佐藤	内線	2256			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-04-01	中央図書館運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 28（ 2016 ）年度	根拠	図書館法、荒川区立ゆいの森あらかわ条例、荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例					
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無（ ）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準	計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画					
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	図書資料や図書館オンラインシステムを充実させ、関係機関と協力して読書活動に親しむ多様な事業展開を行うことによって、子どもたちの読書環境の整備や区民の読書活動を推進し、利用者の課題解決や生涯学習を支援する。							
対象者等	図書館利用者、その他図書館等関係機関							
内容	<p>○多様化するニーズに応え、課題解決を支援できるよう、一般的な資料から専門的な資料まで幅広く購入し、誰でも利用しやすい環境を整え提供する。</p> <p>○30万冊規模の開架の書架等を活用した、特集コーナー等の設置やイベントでの関連図書資料の展示など、図書資料の積極的な活用を行う。</p> <p>○大規模な蔵書を効率的かつ効果的に管理し、良質なサービスを提供する。</p> <p>○絵本館、現代俳句センターなど、特徴となる資料の収集・提供を行い、俳句資料については、現代俳句協会との協定に基づき、関係部署と連携しながら事業を進める。</p> <p>○読書を楽しむまち・あらかわ宣言及び豊かな心を育む読書のまちづくり条例に基づき、地域図書館、学校図書館、街なか図書館が連携し、本が身近にあるまちづくりを進める。</p> <p>【蔵書規模】 開架30万冊、閉架30万冊</p> <p>【資料】 書籍 AV 雑誌 新聞紙</p>							
経過	<p>昭和37年 3月 荒川図書館開館</p> <p>平成5年10月 図書館オンラインシステム稼働、平成10年 5月 南千住図書館開館</p> <p>平成18年 4月 「これからの図書館調査懇談会報告書」、「荒川区子ども読書活動推進計画」策定</p> <p>平成20年 7月 第1回柳田邦男絵本大賞を創設、「特色ある図書館づくり」を目指し、分担収集開始</p> <p>平成23年10月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第二次）」策定</p> <p>平成28年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第三次）」策定</p> <p>平成29年 3月 中央図書館閉館（旧館である荒川図書館は平成28年12月に閉館）</p> <p>平成30年 5月 「読書を楽しむまち・あらかわ」宣言</p> <p>令和3年 4月 「荒川区子ども読書活動推進計画（第四次）」策定</p> <p>令和5年 4月 「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」施行</p>							
必要性	多様化するニーズと課題に対応し、区民の読書活動や生涯学習等を支援し、自ら課題を解決することができる環境づくりに必要な事業である。							
実施方法	<p>（<input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員）</p> <p>配本車運行業務、図書館オンラインシステム機器保守委託、図書資料装備委託等</p>							
指   標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	区民1人当たりの蔵書冊数（点）	4.37	4.42	4.48	4.44	4.81	（全館）蔵書点数÷住基人口
	②	区民1人当たり個人総貸出点数（点）	7.47	10.17	10.26	10.16	10.00	（全館）貸出点数÷住基人口
③	個人登録者数（人）	74,388	84,714	88,823	95,200	130,000	（全館）4月1日現在	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進		重点的に推進						
豊かな心を育む読書のまちづくりを推進していくにあたり、中央図書館は核となる拠点であるため、重点的に推進する。								

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額	136,150	135,861	143,584	149,673	215,540	147,028	152,590
決算額 (5年度は見込み)	123,564	130,022	132,219	138,218	202,069	137,340	152,590
実績の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)							
入館者数 (人) ※中央館のみ	690,094	707,295	697,418	355,860	510,961	618,902	620,709
個人総貸出点数 (点) ※	764,205	764,510	727,666	608,091	738,031	744,966	747,156
特集コーナー設置数 (回) ※	73	166	210	184	220	282	294
おはなし会開催回数 (回) ※	69	71	65	32	41	75	64

令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報酬等	会計年度任用職員 (日額) 報酬・旅費等	17,959	報酬等	会計年度任用職員 (日額) 報酬・旅費等	16,848	報酬等	会計年度任用職員 (日額) 報酬・旅費等	18,784
報償費	各種講座講師謝礼	2,148	報償費	各種講座講師謝礼	1,539	報償費	各種講座講師謝礼	2,235
需用費	図書資料購入費等	50,158	需用費	図書資料購入費等	46,199	需用費	図書資料購入費等	52,196
役務費	配本車運行料等	14,592	役務費	配本車運行料等	12,651	役務費	配本車運行料等	15,125
委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	101,781	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	31,310	委託料	図書館オンラインシステム機器保守委託等	34,229
使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,623	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,420	使用料及び賃借料	図書館オンラインシステム機器賃借料等	28,842
その他	備品購入費・負担金	402	その他	備品購入費・負担金	373	その他	備品購入費・負担金	1,179

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	94,219	91,031	▲ 3,188	地方税等	0	0	0
	物件費	184,736	118,885	▲ 65,851	国庫支出金	0	105	105
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	52	52
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,487	1,716	229	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	3,447	427	▲ 3,020
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	3,447	584	▲ 2,863
	賞与・退職給与引当金繰入額	4,307	4,618	311	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 281,302	▲ 215,666	65,636
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	284,749	216,250	▲ 68,499	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 281,302	▲ 215,666	65,636
特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0	
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 281,302	▲ 215,666	65,636	

備考 行政費用 (物件費) の減は、図書館オンラインシステムの導入が完了したことによる委託料の減である。行政収入 (その他) については、図書購入を目的とした指定寄附金が減少したためである。

問題点・課題  
 ・新たに制定した「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」の趣旨を踏まえ、様々なイベント等を実施するとともに、誰もが読書に親しめる環境整備を進め、多様な利用者に向けたサービスの周知や情報発信に努める必要がある。  
 ・乳幼児期からの読書習慣の形成のため、子ども読書活動推進計画に基づき実施している、新生児に本と触れ合う最初の機会を提供するための「ブックスタート」や読み聞かせの習慣を継続するための3歳児への「セカンドブック」を継続していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	宣言の周知等について、全庁的な取組を進めるとともに区民等の参加による組織を結成し、イベント実施等による宣言周知を図る。	宣言の理念をより一層深めるため、「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」を制定した。	条例の趣旨を踏まえ、様々なイベントや展示を実施するとともに、多様な利用者に向けた資料収集やサービスの周知を行う。
②	令和5年度のブックスタート開始に向けて、ブックスタートボランティアを養成する。	令和5年度のブックスタート開始に向けて、ブックスタートボランティア養成講座を実施した。	「ブックスタート」及び「セカンドブック」を実施するとともに、ボランティア養成講座を継続する。
③			

他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)  
 中央図書館については全区が設置し、子ども読書推進計画の策定、図書館オンラインシステムの導入がなされている。

議会要旨  
 ・令和元年度 決特 図書の弁償・図書資料費・障がい者支援・図書館機能の周知について  
 ・令和元年度 予特 絵本大賞・読書を楽しむまち・あらかわの推進について  
 ・令和2年度 決特 図書館での障がい者サービスについて  
 ・令和2年度 予特 読書を楽しむまちあらかわのPRについて  
 電子図書の導入について



# 事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-04-05	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> 業務 <input type="checkbox"/> 財務 <input type="checkbox"/> 人事					
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業運営費	部課名	地域文化スポーツ部ゆいの森課		課長名	山下		
		担当者名	木次		内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-06-01	吉村昭記念文学館運営費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業                   （ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度 ）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 18	（ 2006 ）	年度	根拠	荒川区立ゆいの森あらかわ条例			
終期設定	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		（   ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	02	地域文化とコミュニティの拠点づくり					
目的	荒川区出身の小説家・吉村昭氏及び吉村氏に関連のある作家に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。							
対象者等	区民等							
内容	○吉村氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 ○企画展示の計画、展示物の製作などの展示活動 ○講演会や吉村氏・津村氏とゆかりのある地との連携等を通じた、吉村氏と同氏の作品の普及啓発 ○文学館が地域文化の醸成に貢献できるよう、友の会を運営 ○ホームページ等での広報  文学館エリア：約540㎡（ゆいの森あらかわ2階・3階の一部、復元書斎を含む） 入館料：無料							
経過	平成 4年度 吉村昭氏区民栄誉賞受賞（5月）、日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成18年度 吉村昭氏逝去（7月31日） 平成26年度 吉村昭記念文学館友の会設立（3月） 平成28年度 吉村昭記念文学館開館（平成29年3月26日）・開館記念企画展（平成29年7月まで） 平成29年度 日本文藝家協会共催事業（7月）、第2回企画展、おしどり文学館協定締結式（11月5日） 令和元年度 企画展、朗読会（橋爪功氏）、おしどり2周年講演会（出久根達郎氏） 令和 2年度 ウェブ企画展、友の会限定イベント実施 令和 3年度 企画展、朗読トーク映像配信（赤江珠緒氏）、おしどり記念朗読会（津田寛治氏）、講演会（吉村司氏）、友の会限定イベント実施 令和 4年度 企画展、おしどり記念講演会（谷口桂子氏）、講演会（宮島咲氏）、友の会限定イベント実施							
必要性	吉村氏の功績を後世に伝えるとともに、吉村昭作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することで、地域文化の醸成や区のPRにも寄与することから、必要性は非常に高い。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 一部委託 ）                   （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ） 文学館の運営に当たっては、学芸員の資格を有する専門の会計年度任用職員を採用して実施するとともに、専門家の御意見も伺いながら進める。展示製作業務、デジタル写真撮影業務等を委託。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	文学館来館者数（人）	32,007	39,244	46,624	50,400	70,000	平成30年8月1日より集計開始
	②	事業の参加人数（人）	644	479	596	647	800	イベントや講演会等の参加者人数
③	文学館友の会会員数（人）	407	470	520	555	650	吉村氏の功績や作品を広く周知するための指標	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進		重点的に推進		企画展の開催や友の会の運営を通して、吉村文学の魅力を区内外に広く発信するとともに、地域文化の醸成を図る事業であるため、重点的に推進する。				

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		24,263	23,438	22,971	21,141	18,422	18,085	17,771
決算額(5年度は見込み)		15,780	16,087	18,531	16,397	16,903	17,197	17,771
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名(5年度は見込み)								
文学館来館者数(人)		-	39,638	53,584	32,007	39,244	46,624	50,400
事業の参加者人数(人)		683	678	663	644	479	596	647
文学館友の会会員数(人)		404	359	397	407	470	520	555
予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	企画展等謝礼	1,209	報償費	企画展等謝礼	1,009	報償費	企画展等謝礼	1,380
需用費	資料購入・印刷製本	1,666	需用費	資料購入・印刷製本	1,757	需用費	資料購入・印刷製本	1,624
役務費	展示資料等運搬費	2,953	役務費	展示資料等運搬費	5,194	役務費	展示資料等運搬費	5,129
委託料	企画展ウェブ制作等	10,100	委託料	企画展展示制作物等	8,080	委託料	企画展展示制作物等	8,160
使用料	著作権使用料	581	使用料	著作権使用料	477	使用料	著作権使用料	635
備品購入費	文学館備品購入等	97	備品購入費	自筆原稿等購入費	413	備品購入費	文学館備品購入費	519
報酬等	会計年度職員報酬・負担金等	297	報酬等	会計年度職員報酬・負担金等	268	報酬等	会計年度職員報酬・負担金等	324

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	22,448	20,660	▲ 1,788	地方税等	0	0	0
	物件費	15,318	15,752	434	国庫支出金	0	80	80
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,340	1,197	▲ 143	使用料及び手数料	0	1	1
	減価償却費	0	0	0	その他	693	1,008	315
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	693	1,089	396
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,215	1,262	47	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 39,628	▲ 37,782	1,846
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	40,321	38,871	▲ 1,450	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 39,628	▲ 37,782	1,846
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 39,628	▲ 37,782	1,846

備考 行政費用については、給与関係費及び企画展等実施に伴う補助費等(報償費)が減少した。行政収入は、おしどり文学館協定関連事業による国庫支出金(地方創生推進交付金)及び吉村昭記念文学館友の会会費(その他)の収入が増加した。

問題点・課題  
 ・他部課との連携を強化するとともに、福井県ふるさと文学館、三鷹市をはじめ、他館や他自治体との連携の幅を広げ、事業を展開することで、来館者の増加を図る必要がある。  
 ・要望の多いイベントの実施や、友の会会員に向けた参加型イベントの実施等により、会員の満足度を高めるとともに、吉村文学の読者層を広げ、文学館への来館、新規入会・更新につなげる必要がある。  
 ・ウェブ・SNS・映像等の発信を通じ、文学館を身近に感じてもらうことで、若年者層等の新たな客層を呼び込み、吉村昭作品の貸出数の増につなげる必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	文学的観点からのアプローチにとどまらず、企画展のテーマで連携するなど、幅広く他館・他自治体との連携を進めていく。	直接作品に関連がない機関等と特定のテーマで連携し、ダムカード展・ダムマニア講演会を行うなど、新たな客層に向けたアプローチした。	多くの方が関心を持ち、来館いただける展示を行う。また、幅広く他館・他自治体と連携を進める。
②	友の会のPR活動の強化や周知方法を工夫する。また、会員から要望の多いイベントや参加型イベント等の充実を図る。	会員からの要望が多かったイベントを、会員限定講座として実施した。また、参加型のイベントとしてクイズラリーを実施した。	友の会の新規加入・更新継続がなされるよう周知方法を工夫するとともに、会員が楽しめるイベントの実施等を行う。
③	クラウド型収蔵品管理システムの導入・活用により、収蔵資料のウェブ公開、音声配信等、新たな発信方法を検討する。	クラウド型収蔵品管理システムの導入・データ移行作業を行い、今後の資料のウェブ公開等、新たな発信に向けた基盤を整備した。	ウェブ、SNS等によるイベント情報の発信を更に進めるとともに、クラウド型収蔵品管理システムによる資料の活用を行う。

他区の実況	(実施 9 区 未実施 13 区 不明 0 区)
文学館設置区 港区、新宿区、文京区、台東区、大田区、世田谷区、渋谷区、北区、練馬区	

議会議決(要旨)	状況
平成18年 三定 記念館の設置要望について	
平成23年 四定 文学館開館に向けた事前周知について	
平成26年度 予特 友の会の設立について	
平成27年度 予特 文学館の開館後のイベントについて	
平成29年度 決特 文学館の周知、友の会、上映会について	